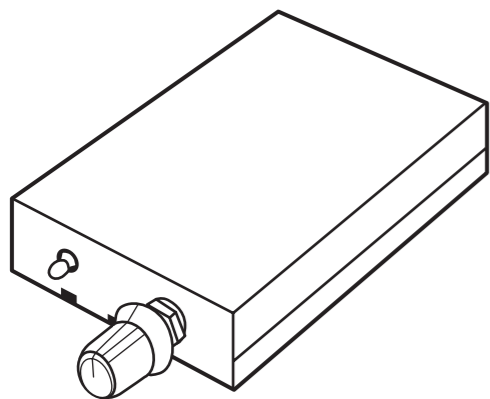


型名 WT-UD81

ダイバシティ
ワイヤレスチューナーユニット



—お買い上げありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「ご使用上のご注意」は必ずお読みください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。本説明書と合わせて組み込む機器の「取扱説明書」、「設置説明書」、および別冊の「安全上のご注意」もお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST1323-001B

ご使用上のご注意

- 本機は当社製製品への組み込み専用ワイヤレスチューナーユニットです。単独でのご使用はできません。
- この機器を分解・改造しないでください。故障の原因となります。
- 機器への組み込みかたとご使用方法は、組み込む機器の「取扱説明書」、または「設置説明書」をお読みください。

適合機種について

PA-K20 シリーズ、PA-L301
(詳細は、お買い上げの販売店にご相談ください。)

商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

受信周波数：806.125MHz～809.750MHz間の
125kHzステップ
30波 (RCR STD-15) のうち1波を選択

受信方式：ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイ
ン方式

受信感度：14dB μ V
(変調1kHz、偏移 \pm 5kHz、S/N30dB以上)

音声出力：-10dBs
(変調1kHz、偏移 \pm 5kHz、60dB μ V入力)

周波数特性：50Hz～15kHz + 3、-6dB
(1kHz基準、デ・エンファシス)

S / N：50dB以上
(変調1kHz、偏移 \pm 5kHz、60dB μ V入力)

電源：DC15V、140mA

外形寸法：65mm × 21mm × 104mm(幅 × 高さ × 奥行)
(突起物含まず)

質量：120g

添付物：	接続ケーブル	× 2
	つまみ	× 1
	チャンネル表示ラベルシート	× 1
	保証書	× 1
	取扱説明書	× 1

※ 本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

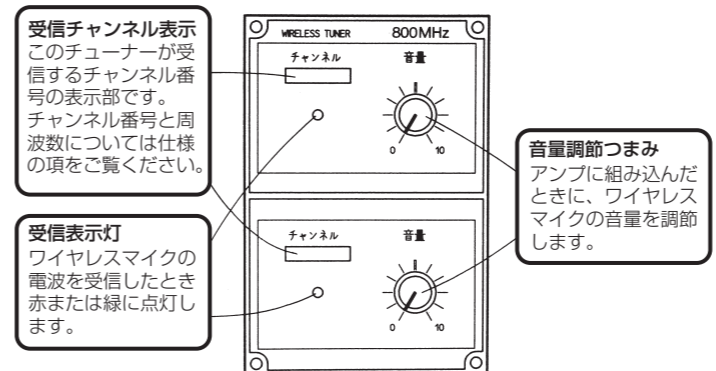
- 保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間について
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
- サービスについてのお問い合わせ先
サービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または組み込まれた機器の取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。そのうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。
- 修理を依頼されるときは
もう一度本機が組み込まれた機器の取扱説明書をお読みのうえ、つまみの位置やワイヤレスマイクと本機の受信チャンネルをお調べください。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

品名	：ダイバシティ・ワイヤレスチューナーユニット
型名	：WT-UD81
組み込まれている機器の品名/型名	：
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

各部の名称とはたらき

図は WT-P812D、WT-P822D (2波受信) の場合を示します。

WT-P811D、WT-P821D (1波受信) のときは下側のみとなります。



組み込みかた

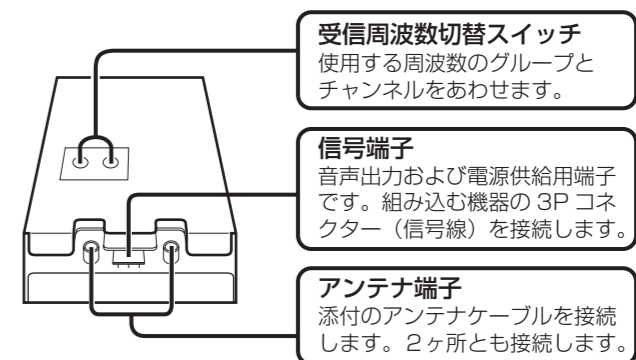
これ以降は設置業者様のための本機の組み込みかたの説明です。故障や事故の防止のため、お客様自身での組み込みは行わないでください。

- 本機を組み込む機器の電源スイッチを必ず OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行なってください。
- 組み込む機器の「取扱説明書」、または「設置説明書」も併せてお読みいただき、安全には十分に注意してください。

ご注意

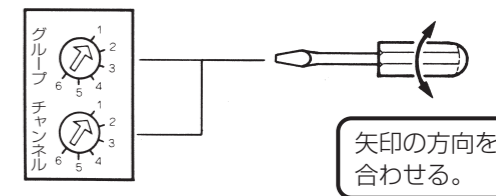
- 機器への組み込み作業は必ず販売店にご依頼ください。
- 静電気による破壊を防止するため、次のことを守ってください。
 1. 静気は人体や衣類に帯電していますので、作業を始めるまえに金属物(ラックなど)に触れるなどして、必ず静電気を逃がしてください。
 2. 本機の接続用コネクターに直接手で触れないでください。

端子とスイッチ



受信周波数の合わせかた

使用する周波数をグループ/チャンネル組み合わせ表から選択し、グループとチャンネルをそれぞれ合わせます。表にないグループやチャンネルに合わせると受信できません。2台組み込むときは必ず同じグループの異なるチャンネルに合わせてください。



グループ/チャンネル組み合わせ表

呼称	チャンネル	グループ					
	グループ	1	2	3	4	5	6
B 型	1	B11	B12	B13	B14	B15	B16
	2	B21	B22	B23	B24	B25	B26
	3	B31	B32	B33	B34	B35	B36
	4	B41	B42	B43	B44	B45	B46
	5	B51	B52	B53	B54	B55	
	6	B61					

※ 組み合わせ表にないものは、設定できません。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話 0120-2727-87

携帯電話・PHS 0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

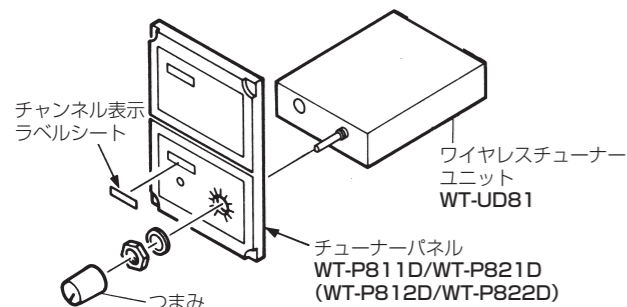
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

組み込みかた

チューナーパネルの取り付けかた

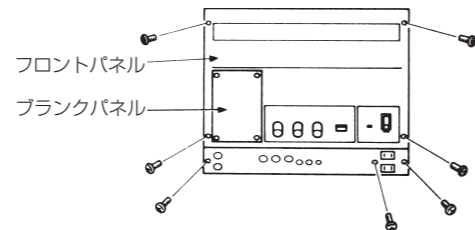
- はじめに「受信周波数の合わせかた」を参考にしてチャンネル設定を行います。
- 設定した周波数のチャンネルを本機に添付のチャンネル表示ラベルシートより選びチューナーパネルの指定の場所に貼り付けます。
- 本機のボリュームシャフトへの仮止めのナット、ワッシャーをはずします。
- チューナーパネル穴にボリュームシャフトを通し、3.ではずしたナット、ワッシャーで本機をチューナーパネルに確実に固定します。

●図は 1 波受信の場合を示します。

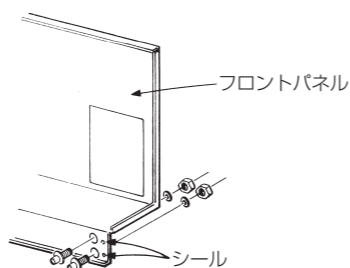


PA-K20 シリーズへの組み込みかた

- PA-K20 のフロントパネルをはずします。(ネジ 7 本)

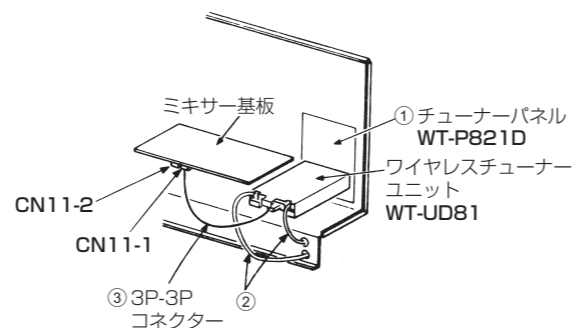


- フロントパネル背面のミキサー基板の **CN05**、**CN06** のコネクターを抜き、束線用のクランプを暖めて、PA-K20 からフロントパネル部を分離します。
- フロントパネルからblankパネルをはずします。(ネジ 4 本)
- フロントパネルのアンテナコネクター取り付け穴のシールをはがし、その穴にチューナーパネル (WT-P821D、WT-P822D) に添付の F コネクター 2 個を取り付けます。



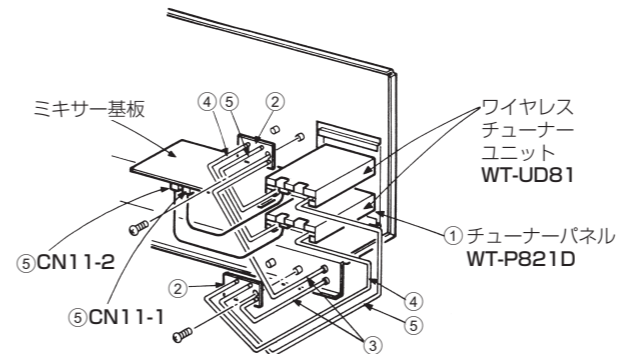
- 本機を取り付けたパネルの取り付け、および PA-K20 の内部の接続を行います。

1 波受信のとき



- blankパネルをはずした位置に、本機を取り付けたチューナーパネルを外側より取り付け、blankパネルを止めていたネジ 4 本で固定します。
- F コネクターから出ているアンテナケーブルを本機のアンテナ端子に差し込みます。(2 本とも確実に差し込んでください。)
- 本機に添付の 3P-3P コネクター付きワイヤーで、本機の信号端子と PA-K20 のミキサー基板の **CN11-1** を接続します。

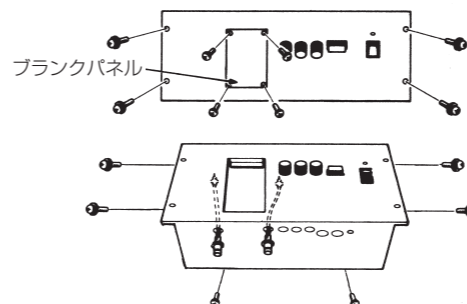
2 波受信のとき



- blankパネルをはずした位置に、本機 2 台を取り付けたチューナーパネルを外側より取り付け、blankパネルを止めていたネジ 4 本で固定します。
- チューナーパネル (WT-P822D) に添付の分配基板 2 枚をチューナーパネルに添付ネジ各 2 本でフロントパネル内側のスタッドにそれぞれ取り付けます。
- F コネクターから出ているアンテナケーブルを、2 枚の分配基板の **CN1** にそれぞれ差し込みます。(2 本とも確実に差し込んでください。)
- チューナーパネルに添付のアンテナケーブル 4 本で 2 枚の分配基板の **CN2-1**、**CN2-2** と 2 台の本機のアンテナ端子を図のように接続します。ダイバシティ効果を出すために、必ず 1 枚の分配基板の **CN2-1** と **CN2-2** は別のチューナーユニット (本機) に接続してください。(4 本とも確実に差し込んでください。)
- 本機 2 台にそれぞれ添付の 3P-3P コネクター付きワイヤー 2 本で、本機 2 台の信号端子と PA-K20 のミキサー基板の **CN11-1**、**CN11-2** を接続します。
- アンテナケーブルおよび 3P-3P コネクター付きワイヤーの配線を確認し、フロントパネルを元の位置に戻し、フロントパネルを固定していたネジ 7 本で固定します。

PA-L301 への組み込みかた

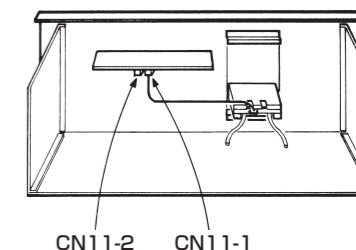
- PA-L301 のアンプを固定しているネジ 4 本をはずして、アンプ本体を取り出します。
- アンプのカバーをはずします。(ネジ 6 本)
- アンプのpanelに取り付けられているblankパネルをはずします。(ネジ 4 本)
- アンプのアンテナコネクター取り付け穴に、チューナーパネル (WT-P811D、WT-P812D) に添付の F コネクター 2 本を取り付けます。



- 本機を取り付けたチューナーパネルの取り付け、およびアンプ本体部の内部の接続を行います。

1 波受信のとき

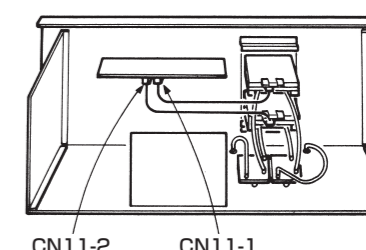
ーシャーシ上部より見た図ー



- blankパネルをはずした位置に、本機を取り付けたチューナーパネルを外側より取り付け、blankパネルを止めていたネジ 4 本で固定します。
- F コネクターから出ているアンテナケーブルを本機のアンテナ端子に差し込みます。(2 本とも確実に差し込んでください。)
- 本機に添付の 3P-3P コネクター付きワイヤーで、本機の信号端子とアンプ本体のミキサー基板の **CN11-1** を接続します。

2 波受信のとき

ーシャーシ上部より見た図ー



- blankパネルをはずした位置に、本機 2 台を取り付けたチューナーパネルを外側より取り付け、blankパネルを止めていたネジ 4 本で固定します。
- チューナーパネル (WT-P812D) に添付の分配基板 2 枚をチューナーパネルに添付のネジ各 2 本でアンプ本体内部のスタッドにそれぞれ取り付けます。
- F コネクターから出ているアンテナケーブルを、2 枚の分配基板の各 **CN1** にそれぞれ差し込みます。(2 本とも確実に差し込んでください。)
- チューナーパネルに添付のアンテナケーブル 4 本で 2 枚の分配基板の **CN2-1**、**CN2-2** と 2 台の本機アンテナ端子を図のように接続します。ダイバシティ効果を出すために、必ず 1 枚の分配基板の **CN2-1** と **CN2-2** は別のチューナーユニット (本機) に接続してください。(4 本とも確実に差し込んでください。)
- 本機 2 台にそれぞれ添付の 3P-3P コネクター付きワイヤー 2 本で、本機 2 台の信号端子とアンプ本体のミキサー基板の **CN11-1**、**CN11-2** を接続します。
- アンテナケーブルおよび 3P-3P コネクター付きワイヤーの配線を確認し、カバーを固定していたネジ 6 本で固定します。
- レクチャーテーブルの元の位置に戻し、アンプ本体を固定していたネジ 4 本で固定します。